

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構が実施する

認証評価

—高等専門学校¹の質を保証するために—

大学改革支援・学位授与機構は

- ・教育を中心とした総合評価
- ・透明性の高い開かれた評価
- ・高等専門学校の個性伸長と自己改革を促す評価
- ・社会の理解を深める評価

を行うことで高等専門学校の質を保証します。

National Institution for Academic Degrees
and Quality Enhancement of Higher Education



<http://www.niad.ac.jp/>

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1
独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構

高等専門学校機関別認証評価に関するお問い合わせは
評価支援課高専評価係
042-307-1660

高等専門学校機関別認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務づけられています。

（学校教育法第109条、同法第123条において準用）



▲訪問調査での学生面談（イメージ）
訪問調査では、学生からも意見を聴きます。

評価の目的

- 高等専門学校の教育研究活動などの質を保証します。
- 評価結果を高等専門学校にフィードバックすることで、高等専門学校が教育研究活動などの改善に役立てられるよう支援しています。

◇優れた点を指摘し、教育の質の向上や個性の伸長に寄与しています。

指摘事項の例

- 校舎改修に伴い各教員研究室前にコモンスペースを設け、学生が自主的学習を進める上での相談・助言を受けやすい体制を整えるとともに、学生の自主的学習にも使わせるなど有効活用している。
- 海外留学について、積極的な取組がなされ、毎年数十人規模の多数の学生が留学する成果を上げている。
- 専攻科課程では、3か月間の長期インターンシップを必修科目として実施しており、実務経験を通じて、実践的技術者として必要な実践力の育成を図るなど長期インターンシップを有効活用している。

◇改善を要する点を指摘し、質の向上に寄与しています。

指摘事項及び高等専門学校の対応例

- シラバスの記述が十分でない科目がある。
→翌年度のシラバスにおいて、内容を具体的に明記し、学生に伝わるよう改善に取り組んだ。
- 施設・設備のバリアフリー化が不十分である。
→バリアフリー化の工事を行った。
- 学生からの意見聴取に基づく学習達成度評価の取組が不十分である。
→直接的な学習達成度評価が可能となるよう、アンケートを見直した。

◇教育情報等を分かりやすく社会に公表する取組を促しています。

- 評価結果をウェブサイトなどに公表することで、高等専門学校の活動についての理解と支持が得られるよう支援しています。